

手術室

NI（ナーシングインディケータ）

手術体位による褥瘡発生率

背景

手術は特殊な体位や同じ体位を長時間とらなければならず、適切な予防対策が行われなければ褥瘡の危険性が高くなる。褥瘡を発生することなく、患者が「安心して安楽な体位で手術が受けられる」ための、手術室看護師の役割は大きい。手術担当看護師は、術前訪問で患者の皮膚状態を確認しながら、術中の体位を確認し、予防ケアを計画し、医師に協力を得ながら実践している。すでに、褥瘡のある患者や皮膚障害を持つ患者には、事前に皮膚排泄ケア認定看護師に相談し、除圧マットの選択の工夫や皮膚保護材などを使用して、悪化予防対策を行っている。また、褥瘡予防ケアに対する部署内研修を開催し、知識の向上に努めている。

定義

褥瘡発生率＝褥瘡（DESIGN-Rの深さd1以上）件数
手術件数（全身麻酔のみ） × 100（%）

結果

2017年・2018年・2019年度 褥瘡発生率 0%

評価

3年連続、褥瘡 $\left[\frac{\text{DESIGN-Rの深さd1以上）件数}}{\text{手術件数（全身麻酔のみ）}} \times 100（\%） \right]$ 発生はなく、現在のケアは効果があると思う。引き続き、現在の予防ケアを継続し、ハイリスク患者への個別性の高いケアを目指したい

